



OpenOffice.org 1.1

For Windows

導入ガイド

インストール編



あわしろ いくや
ikuya@openoffice.org

OpenOffice.org 日本ユーザー会
<http://ja.openoffice.org/>

Public Documentation License Notice

The contents of this Documentation are subject to the Public Documentation License Version 1.0 (the "License"); you may only use this Documentation if you comply with the terms of this License. A copy of the License is available at <http://www.openoffice.org/licenses/PDL.html>.

The Initial Writer of the Original Documentation is AWASHIRO Ikuya and KACHI Yutaka. Copyright (C) 2003. All Rights Reserved. (Initial Writer contact(s): ikuya@openoffice.org, catch@openoffice.org).

このドキュメントは、OpenOffice.org 1.1 導入ガイドからインストール部分を抜粋したものです。

最新版/関連ファイル

このガイドの最新版、PDF 変換前の原版、作成したサンプル、使用したイラストなどは、次のサイトで入手できます。

OpenOffice.org 1.1 活用ページ (for Windows) <http://oooug.jp/1.1/katsuyou/>

OpenOffice.org 1.1 Support Page (for Linux/Solaris) <http://desktop.good-day.net/ooo11/>

さらに理解を深めるために

可知豊さんによる「OpenOffice.org オープンマニュアル」をご覧ください。

Writer, Calc, Impress, Draw のさらに詳細かつわかりやすい解説が掲載されています。

OpenOffice.org オープンマニュアルは次のサイトで入手可能です。

<http://oooug.jp/start/#question>

また、OpenOffice.org 日本ユーザー会による公式マニュアルが発売されています。

『OpenOffice.org オフィシャルユーザーズガイド』

<http://book.mycom.co.jp/book/4-8399-1141-X/4-8399-1141-X.shtml>

商標

Linux は Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Sun, Sun Microsystems, Java, Solaris, StarOffice, StarSuite は米国 Sun Microsystems, Inc. の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Intel, Pentium はアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。

Microsoft, Microsoft Windows, Microsoft Office は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

X Window System は、米国 X Consortium Inc. の登録商標です。

Macromedia, Macromedia Flash は米国 Macromedia, Inc. の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

その他本文中に記載されている製品の名称は、関係各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM マークおよび R マークは明記していません。

Step1:使えるようにしよう



続いては、インストール方法の解説です。いわゆるセットアップですね。これが終われば、OpenOffice.orgが使えるようになります。

手順は、普通のアプリケーションと同じです。

操作説明に従って、進んでください。

インストールの前に

OpenOffice.org の動作環境

Windows

Microsoft Windows 98, 98SE, ME, NT4(サービスパック 6 以上), 2000, XP

- Pentium 互換 CPU
- 64MB RAM
- 250MB 以上の空きハードディスクスペース(ただし、日本語を含むCJKでは300MB以上必要です)
- 800x600 ピクセル以上の解像度と 256 色以上のカラー
- Sun Microsystems 社製 Java VM JRE (1.4.1_01 以上) ただし、必ずしも必要ではありません

ただし、これは必要最低限のスペックで、快適な使用は望めません。Windows のバージョンによって快適なスペックは若干異なりますが、だいたい

- Intel Pentium II 300MHz あるいは同程度の互換 CPU 以上
- 10GB クラスのハードディスク
- 256MB 以上のメモリ
- 1024x768 ピクセル以上の解像度。65536 色以上のグラフィック

このくらいあれば快適に動くものと思われます。

Java VM

OpenOffice.org の動作そのものに Java VM は必要ありませんが、あると OpenOffice.org の機能が全て使えるようになります。例えば、アクセシビリティ機能の一部は Java VM がないと使えません。

2004 年 12 月上旬現在、Java VM の最新安定バージョンは 1.5.0 です。

<http://java.sun.com/j2se/1.5.0/ja/>から指示に従ってダウンロードしてください。JRE と SDK がありますが、普通に使う分には JRE をダウンロードすればいいでしょう。

なお、Java VM は OpenOffice.org のインストール中にインストールすることもできますし、あとからインストールすることもできます。

OpenOffice.org を入手する

ほとんどの方は、すでに OpenOffice.org を入手されていると思いますが、もしまだの場合はインターネットの次のサイトからダウンロードしてください。

OpenOffice.org 日本ユーザー会 <http://ja.openoffice.org/>

OpenOffice.org 独自ビルドプロジェクト <http://waooo.sourceforge.jp/>

多くのパソコン雑誌が、付録 CD-ROM/DVD-ROM に OpenOffice.org を収録しているので、そちらで入手できるかも知れません。

また、インストールする前に、Lhasa などの解凍ソフトや Windows の機能で OpenOffice.org を解凍しておいてください。

解凍の方法やそのためのツールについては、Vector(<http://www.vector.co.jp/>)などのオンラインソフト配布サイトで調べてみてください。

インストール方法を選択する

OpenOffice.org のインストールには、2つの種類があります。「シングルユーザーインストール」と「マルチユーザーインストール」です。

次の場合には、シングルユーザーインストールを行います。

- PC を一人で使っている
- PC 1台を何人かで共有していて、ログイン名を共通にしている

ほとんどのユーザーは、シングルユーザーインストールでいいでしょう。よくわからない場合は、こちらを選んでおきましょう。説明によっては、スタンドアロンインストールとなっている場合があります。

次の場合には、マルチユーザーインストールを行います。

- PC 1台を何人かで共有していて、各ユーザーがユーザ名を持っている
- 複数のパソコンを LAN で結び、そのうち 1台をファイルサーバーにしている

こちらは、ネットワークインストールと呼ばれる場合もあります。

マルチユーザーインストールは、「共有インストール」と「個別インストール」という 2つのステップに分かれています。

もし、以前インストールしたことがある方は、2.6の「バージョンアップする場合」をご覧ください。

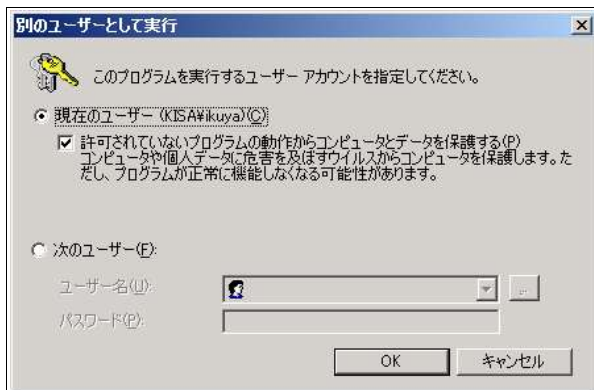
シングルユーザーインストール

まずはシングルユーザーインストールの手順を説明します。

OpenOffice.org を解凍してできたディレクトリにある setup.exe をダブルクリックし、起動させます。

ユーザー権限でインストールしようとした場合は、このダイアログが出てきます(Windows 2000 も XP もほぼ同じダイアログです)。

もしこのダイアログが出てきた場合は、マルチユーザーインストールを行うことを強くお勧めします。[キャンセル]をクリックして 2.5 のマルチユーザーインストールの項を参考にインストールしてください。



インストール作業に必要なファイルの解凍が始まります。



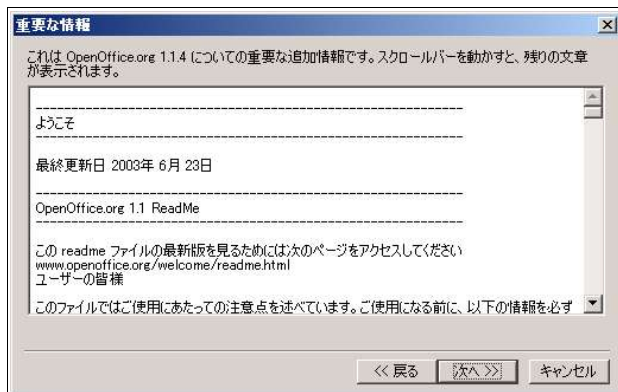
解凍が終わると、セットアッププログラムが表示されます。

インストールのスタートです。

[次へ]をクリックします。



OpenOffice.org の「重要な情報」が表示されます。ひとつお読みした後、[次へ]をクリックします。



ソフトウェア許可協定が表示されます。

OpenOffice.org 1.1 では、ライセンスを全て読んで、（一番下までスクロールさせて）[協定条件に同意します]にチェックを入れないと[次へ]がクリックできません。



ユーザーデータの入力です。

入力しなくてもインストールはできますが、[バージョン管理]機能を使うことを考えると、名前くらいは入力しておいた方がいいでしょう。

入力してから[次へ]をクリックしてください。



インストールの種類を選択します。

ここではデフォルトの[標準インストール]を行います。そのまま[次へ]をクリックしてください。



インストールディレクトリの設定です。

OpenOffice.org をインストールするディレクトリを指定します。

このままでいいでしょう。

[次へ]をクリックしてください。

もしディレクトリがない場合は、作成を確認するダイアログが出てきます。

[OK]をクリックしてください。



インストールの設定作業は、これで終わり并表示されます。

[インストールする]ボタンをクリックします。

でも、作業はこれで終わりではありません。



ここでは、ファイルの関連づけの設定を行います。

基本的に、この設定は変更する必要はありません。

たとえば、Microsoft Word 文書のチェックボックスをオンにすると、そのアイコンをダブルクリックしたとき、Microsoft Word ではなく OpenOffice.org で開くようになります。そのため、ファイルのアイコンが OpenOffice.org のものになってしまう。

このチェックボックスをオンにしくても、Microsoft Word 文書のファイルを

OpenOffice.org で開くことができます。なので、チェックボックスは全てオフのままでもいいでしょう。



ここでは、Java VM の設定をします。

すでに Java VM がインストールされているならそのまま [OK] ボタンを押しましょう。

もしインストールされていなければ、[OpenOffice.org]1.1.4 で Java は使用しない]にチェックを入れます。

複数インストールされていれば、使用する Java Runtime 環境を選択します。



いよいよインストールが始まります。しばしお待ちください。

数十秒ないし数分でインストールが完了します。

シングルユーザーインストールはこれで終了です。



マルチユーザーインストール

ここでは、マルチユーザーインストールの手順を説明します。

すでに説明したように、1台のPCで複数のユーザーが使い分ける場合には、こちらのインストール方法にします。

この作業は、共通インストールと個別インストールの2つに分かれています。

共通インストール

マルチユーザーインストールは、一度だけ行う共通インストール（別名サーバーインストール）と、各ユーザーアカウント毎に行う個別インストール（別名ワークステーションインストール）に分かれます。

まずは共通インストールから行いましょう。

共通インストールの場合、インストール前に少々工夫が必要です。シングルユーザーインストールでは setup.exe を起動するだけでよかったのですが、共通インストールでは管理者権限で setup.exe にオプションをつけて起動する必要があります。

スタートメニューにある[ファイル名を指定して実行]をクリックします。

ダイアログが出てきますので、そこに setup.exe をドラッグ&ドロップするか、[参照]から setup.exe を探してください。

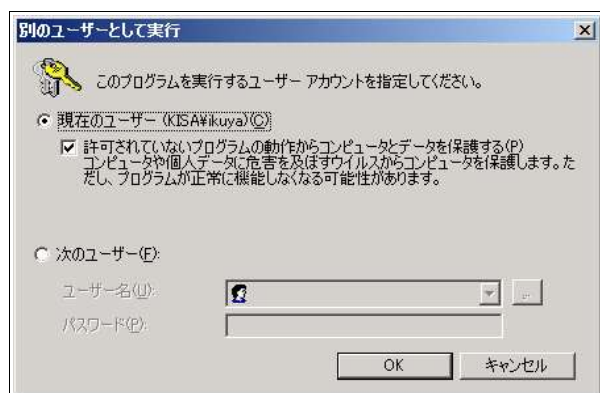
さらに setup.exe の後ろに半角スペースを入れ、-net をつけてください。



もし”(ダブルクォーテーションマーク)が setup.exe の後ろにある場合は、”の後ろに -net を入れます。

このダイアログが出てきた場合、コンピュータの管理者さんにインストールしていかどうか問い合わせてみてください。

残念ながら、あなたの権限ではインストールすることを許されていません。



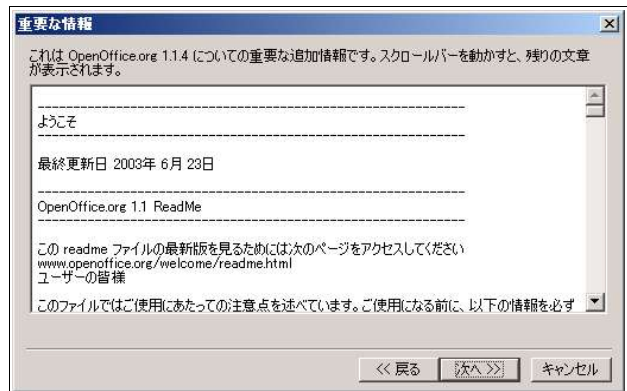
いよいよインストールを始めます。

[次へ]をクリックします。



OpenOffice.org の「重要な情報」が表示されます。

[次へ]をクリックします。



ライセンスを全て読んで（一番下までスクロールさせて）[協定条件に同意します]にチェックを入れます。



インストールの種類を選択します。

ここではデフォルトの[標準インストール]を行います。

そのまま[次へ]をクリックしてください。



OpenOffice.org をインストールするディレクトリを指定します。

デフォルトで問題ないでしょうが、変更する場合はディレクトリを指定してから[次へ]をクリックしてください。

もし指定したディレクトリが存在しない場合は、ここで作成するかどうか確認のメッセージが出ます。



インストールの設定が完了したと表示されます。

[インストールする]ボタンをクリックします。

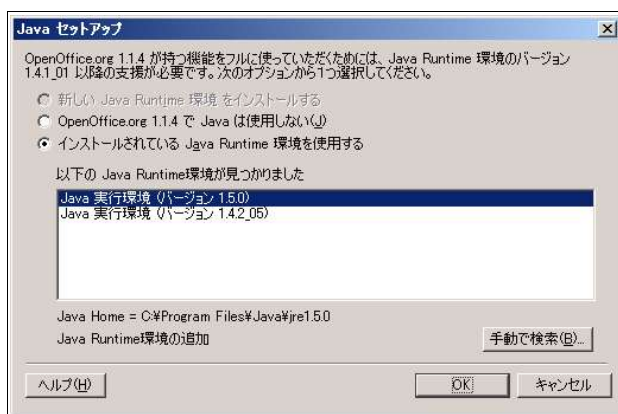


Java VM の選択画面になります。

すでに Java がインストールされているなら、そのまま [OK] ボタンを押しましょう。

もしインストールされていなければ、[OpenOffice.org 1.1.4 で Java は使用しない] にチェックを入れます。

複数インストールされていれば、使用する Java Runtime 環境を選択します。



[OK] ボタンをクリックすると、実際にインストール作業が行われます。しばしお待ちください。

これで共通インストールは完了です。

引き続き個別インストールに移ってください。





個別インストール

マルチユーザーインストールでは、共有インストールに続いて、個別インストールが必要です。この操作は、各ユーザーが個別に行います。

まず、インストールしたフォルダを開いてください。

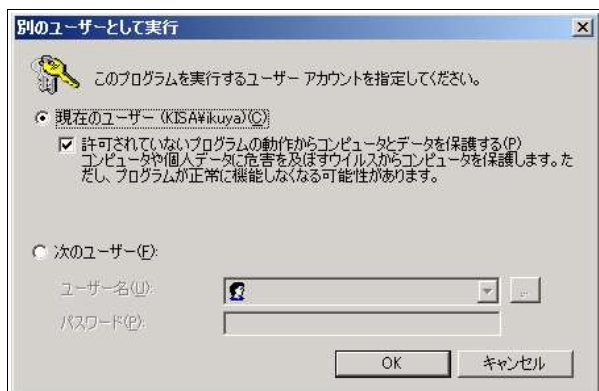
標準では

C:\Program Files\OpenOffice.org1.1.4
です。

ここにある、“OpenOffice.org Setup”を
起動します。



もしこのダイアログが出てきたら、今
度はユーザー権限でインストールするの
で、そのまま[OK]をクリックします。

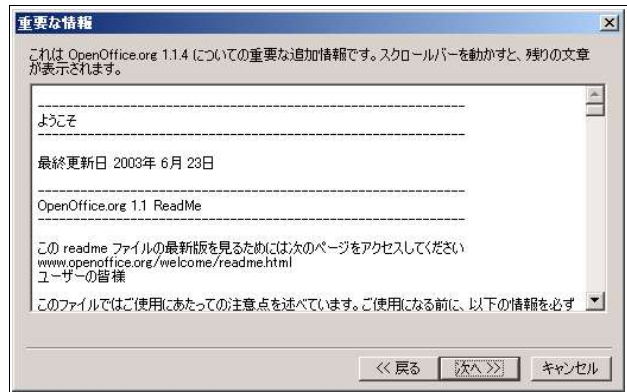


やはり、このダイアログが出ます。
[次へ]をクリックします。



OpenOffice.org の「重要な情報」が表示されます。

[次へ]をクリックします。



「ソフトウェア許可協定」です。一番下までスクロールして[協定条件に同意します]にチェックをつけます。



ユーザーデータの入力です。
名前くらいは入力して、次へ行きま
しょう。

ユーザーデータの入力

会社(C) _____

名/姓/イニシャル(N) |kuya | AWASHIRO | IA

市区町村番地(S) _____

郵便番号/都道府県名(G) _____

国名/地区(O) 日本

肩書き/部署(T) _____

Tel.(自宅)(H) _____

Tel.(会社)(W) _____

Fax _____

E-mail _____

ヘルプ(A) << 戻る 次へ >> キャンセル

インストールの種類を選択します。
ここでは、[ワークステーションイン
ストール]を選択します。

インストールの種類を選択

インストールの種類を選択してください。

ワークステーションインストール(E)
プログラムが直接ネットワークで起動するように、インストールを実行し
ます。ローカルファイルには 2.8 MB が必要です。

ローカルにインストール(C)
すべての OpenOffice.org 1.1.4 コンポーネントをワークステーション上
のローカルにインストールします。このインストールには 169.5 MB ディス
ク空き容量(一時的に 169.5 MB)が必要です。

ヘルプ(A) << 戻る 次へ >> キャンセル

インストールするディレクトリを指
定します。
デフォルトのままでいいでしょう。
[次へ]ボタンをクリックします。

ディレクトリがない場合、ディレク
トリを作成するかどうかの確認ダイア
ログが出ます。[OK]をクリックしてく
ださい。

インストールディレクトリの選択

OpenOffice.org のコンポーネントをインストールするディレクトリを入力してく
ださい。新しいディレクトリ名を入力するか[検索(B)...]で適切なディレクトリ
を選択します。

ハードディスク	必要な容量	空き容量
(C:) ME8_V4520T	2 MB	1465 MB
(D:)	2 MB	7873 MB

インストールディレクトリ
C:\Documents and Settings\kuya\Application D 検索(B)...

ヘルプ(A) << 戻る 次へ >> キャンセル

[インストールする]ボタンをクリックします。



「ここでは、ファイルの関連づけの設定を行います。

基本的に、この設定は変更する必要はありません。

たとえば、Microsoft Word 文書のチェックボックスをオンにすると、そのアイコンをダブルクリックしたとき、Microsoft Word ではなく OpenOffice.org で開くようになります。そのため、ファイルのアイコンが OpenOffice.org のものに変わ

ってしまいます。

このチェックボックスをオンにしなくても、Microsoft Word 文書のファイルを OpenOffice.org で開くことができます。なので、チェックボックスは全てオフのままでもいいでしょう。」



インストールが始まりますが、すぐに終わります。



これで完了です。

他のユーザーが OpenOffice.org を使う場合、そのユーザーのアカウントでログインして、同じように個別インストールを行います。

バージョンアップする場合

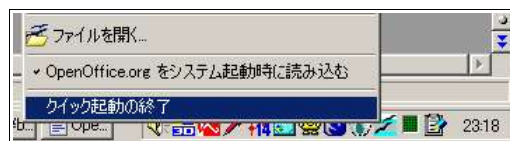
まず注意すべきこと

インストールを開始する前に、必ずクイック起動を終了させてください。

もし起動してインストールを開始した場合は、インストールの途中でエラーメッセージが出て、キャンセルを要求されます。

クイック起動を終了するには、タスクトレイにあるカモメのアイコンを右クリ

ックし、表示されたメニューから[クイック起動の終了]を選択します。



バージョンアップの種類

バージョンアップは2つの方法で行うことができます。

- 更新

現在インストールされている古いバージョンに上書きします。この方法だと、以前のバージョンと共存させることができず、設定を引き継ぐことができます。

- 新しいディレクトリにインストール

新しくディレクトリを作成し、そちらにインストールします。

この方法だと以前のバージョンと共存させることができますが、それほど必要はないでしょう。

設定などを引き継ぐことはできないので、新たに行う必要があります。

更新できる条件

新しいディレクトリにインストールするのは比較的簡単ですが、更新の場合にはある条件を満たさなくてはなりません。

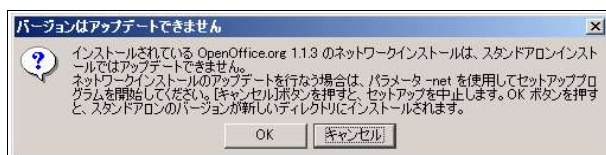
その条件とは、インストール方法が同じであることです。

例えばシングルユーザーインストールでインストールした場合、更新もシングルユーザーインストールで行う必要があります。

更新できる場合、次のようなダイアログが表示されます。



更新できない場合、次のようなダイアログが表示されます。



マルチユーザーインストールの場合

個別インストールは自動的に更新されます。



いずれの場合も、これらのダイアログのあと「重要な情報」に続きますので、シングルユーザーインストールの場合は2.4に、マルチユーザーインストールの場合は2.5に戻ってインストールを続行してください。

アンインストール

OpenOffice.org をアンインストールするには、コントロールパネルの[ファイルの追加と削除]で OpenOffice.org1.1.4 を指定します。

インストールプログラムが呼び出されますので、[削除]を選択します。

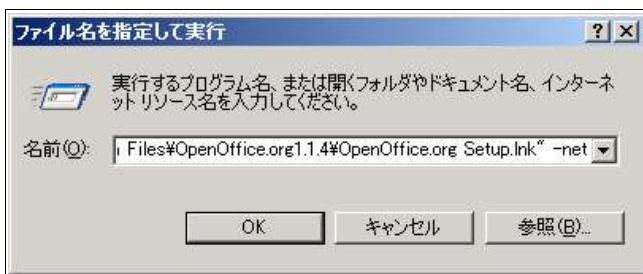


ディレクトリごと削除するかどうか決めてください。[すべてのファイルの削除]で問題ないでしょう。



アンインストールの方法は、シングルユーザーインストールでも、個別インストールでも同じです。

共有インストールの場合は、“-net”のオプション付きで setup.exe ないし Setup のショートカットを起動してください。





OpenOffice.org 1.1 導入ガイド

執筆 あわしろ いくや

貢献者 可知 豊

Portions created by Yutaka Kachi are Copyright(C)2003 All Rights Reserved. (Contributor contact(s):catch@openoffice.org).

協力

三月(イラスト)

谷口康明(Solaris 対応)

OpenOffice.org 実験室

(株)グッデイ

更新来歴

2005/01/14 章ごとにファイルを分割する

2004/12/05 OpenOffice.org 1.1.4 対応版リリース

2004/08/29 OpenOffice.org 1.1.3 対応版リリース

2004/07/29 キャプチャ画面のミスを修正

2004/07/03 表記揺れの修正、キャプチャ画面のミスを修正

2004/06/20 OpenOffice.org 1.1.2 対応版の最終リリース

使用フォント

本文中のフォントは、(株)モトヤの著作物である「モトヤシーダ1」を使用させていただいてますが、現在このフォントは公開されていません。修正する場合は、ほかのフォントを使用してください。

(株)モトヤの Web サイトは <http://www.motoyafont.jp/> です。

なお、使用フォントは今後の更新で変更される予定です。

